

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるGoogleの活用

数学科の場合

スライドの活用

① どうすれば1次関数のグラフを簡単にかけられるだろうか。

② p.76活動4を教科書にやる。

② p.77 たしかめ2を教科書にやる。

② p.77活動5を教科書にやる。

③ ④スライドNo.5

③ 活動4と活動5の「かきかた」を比較する。  
スライドNo.6

④ 1次関数のグラフのかきかたの手順をまとめる。  
スライドNo.7

振り返りを入力する。スライドNo.8

【学習の流れ】

フローチャートは習熟度に応じて生徒自身が選択する。  
(学習の個性化)

【探究的な学習の過程】

探究の過程を意識しながら学習を進める  
(指導の個別化)

スライドに入力しても、スライドを参考にノートに記録してもよい。

整理・分析

	辺の数	できる三角形の数	内角の和
三角形	3	1	180
四角形	4	2	360
五角形	5	3	540
六角形	6	4	720
七角形	7	5	900
八角形	8	6	1080
九角形	9	7	1260
⋮			
n角形	n	n-2	$180 \times (n-2)$

【成果物】

結果だけでなく、探究活動一連のスライドを提出させることで、教師が生徒の思考の過程を見取ることができるようにする。

③整理・分析

表に整理して、わかったことや気付いたことは？

辺の数とできる三角形の数はどちらも1ずつ増えている。内角の和は180度ずつ増えている。

④まとめ・表現

n角形の内角の和は  $180^\circ \times (n-2)$  である。なぜなら、

ある頂点からその他の頂点に向かって対角線を引く。(n-2)個(五角形ならば3個)の三角形ができる。三角形の内角の和は  $180^\circ$  なので、n角形の内角の和は  $180^\circ \times (n-2)$  になる。